

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】 (⑤その他の施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	6	施設名	掛川市森の都ならこの里			担当課名	地域支援課	
区分		内容・説明						
1	施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市森の都ならこの里条例					
		(2)施設設置目的	健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する					
		(3)施設が有する設備、機能の概要	総合案内施設1棟、オートキャンプ場100台、バンガロー(6人用)20棟、バンガロー(5人用)8棟、コテージ5棟、共同炊事場4ヶ所、コインシャワー8基、トイレ5ヶ所、林間広場9,880㎡、テニスコート2面、釣り堀1ヶ所、工作室1棟、研修棟1ヶ所、温泉会館1棟、森林科学館1棟					
		(4)施設建設年度	案内所 S57 食堂、展示販売施設 H6 温泉館 H15					
		(5)耐震性能の有無	あり					
		(6)将来予想される改修経費	キャンプ場各施設修繕費、温泉館ボイラー交換2基					
		(7)指定管理者名	株式会社森の都ならこの					
		(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成29年 3月31日 まで					
		(9)施設の管理運営形態	②利用料金制度					
		(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり	<input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(H23年度事業費 8,871千円)			
		(11)指定事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり	<input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(H23年度事業費 千円)			
		(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
		(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 23 年度)					
区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考		
2	施設・設備ごと	(1)施設利用者数	141,447	137,304	138,557			
		①キャンプ場	43,119	43,067	42,593			
		②温泉館	97,141	93,306	95,214			
		③森林科学館	1,187	931	750			

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	550	551	533			
	(3)運営日数	355	355	355	355	温泉館については341日	
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	3.0	3.0	3.0	
		②臨時職員	18.0	20.0	20.0	18.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	47,294,113	46,216,484	45,049,437	47,000,000	
	②印刷費	1,975,535	1,538,113	1,391,922	1,400,000	
	③通信費	867,038	873,859	800,264	800,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	165,739	231,499	161,241	150,000	
	⑤借上料	1,437,602	1,532,477	1,497,976	1,500,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	6,861,260	6,361,920	6,590,730	6,610,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	19,182,892	18,943,037	18,378,967	19,000,000	
	計	77,784,179	75,697,389	73,870,537	76,460,000	
	対前年度増減率		△ 2.7	△ 2.4	3.5	
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	362,400	384,000	384,000	384,000	
	リース料	362,400	384,000	384,000	384,000	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	2,862,789	4,276,347	2,550,168	3,770,000	
	③光熱水費	10,461,684	11,629,713	13,087,075	13,500,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	2,956,406	3,074,629	3,316,746	3,500,000	
	計	16,643,279	19,364,689	19,337,989	21,154,000	
	対前年度増減率		16.4	△ 0.1	9.4	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		94,427,458	95,062,078	93,208,526	97,614,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		82.4	79.6	79.3	78.3	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		72,442,965	71,035,388	71,033,888		
(6)運営コストのうち利用者収入の割合		93.1	93.8	96.2		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、 利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
a)-b)	0	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入	72,442,965	71,035,388	71,033,888	
b) 指定管理料	0	0	0	
c) 指定事業収入	0	0	0	
d) 自主事業収入	22,719,529	22,286,362	21,226,481	
e) その他収入	2,206,836	2,230,044	3,697,446	
合計	97,369,330	95,551,794	95,957,815	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	・施設の利用目的である、「健全な余暇の活用を促進し、もって市民の福祉の増進に寄与する」に合致した運営が行われており、春夏秋冬毎のイベントを開催している。また、温泉と食堂を併設し、利用客の利便性に努めている。	・施設運営上の問題点は特に見られないが、イベントの内容がマンネリ化している部分が見受けられるため、新たな企画を立案する必要がある。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	・利用者満足度調査については常時実施しており、満足度の把握に努めている。利用者の声としては、食堂のメニューや施設の広さについての不満などが寄せられている。 ・利用者数の推移は、H20は144,289人、H21は141,720人、H22は137,304人、H23は138,557人となっており、例年14万人前後で安定している。 ・地元民だけでなく、広く市民に利用されている。	・利用者満足度調査を引き続き実施し、利用客のニーズを把握し、サービスの向上に努める。食堂のオーナーと定期的に会議、打ち合わせを行い、改善を図る。施設については市の所有でもあるため、検討事項とする。 ・定期的な職員会議を行い、現状の把握、改善に努める。 ・利用者拡大のため、幼稚園、保育園、校長会議などへの営業活動を引き続き行う。また、シーズンオフの利用客を増やすよう、企画立案や営業に努める。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	・利用料金制であり、利用料金収入はH21は72,443千円、H22は71,035千円、H23は71,033千円となっている。温泉、コテージ、キャンプサイトについては増えているが、他、主にバンガローについては500千円の減となっている。 ・経費の中で光熱費がガス代の高騰で2,500千円増となっている。 ・8年連続黒字となっており、経営状況は良好である。 ・民間への移行を検討したが、設立の経緯、意義に反することや、株式の処理等課題が多い。	・コテージの需要が増えているため、バンガローを一部撤去し、コテージを新たに建設する等、施設の更新について検討する。 ・施設の規模を考慮すると、シーズンの客入りは現状以上は難しいと思うが、オフシーズンに利用客が増えるよう、イベントを企画し、売上増を図る。 ・連続黒字を収めているものの、本営業については赤字であるため、本営業で黒字となるよう、営業活動、経費削減に尽力する。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	・学校教育の一環として宿泊体験等にも利用されている。広く市民に利用されており、利用目的も達成されていると判断できる。 ・施設や設立目的等を考慮すると他施設との統廃合や機能の集約は難しい。	・利用者のニーズを把握し、設置利用目的に沿った経営を引き続き行う必要がある。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	・第2東名が開通し、看板の増設、HPの更新、ハイウェイマップへの掲載等を実施した。 ・施設の点検については常時行っており、災害時においても場内放送を流すなど、的確な対応がされている。	・引き続き第2東名を活用した営業や広報活動を検討し、利用客の増に努める。 ・想定外の被害にも対応できるよう、対策を講じていく。

5 その他自由意見

8年連続で黒字決算であり、安定した経営をしていると判断できる。引き続き黒字決算となるよう指導する。